

建材EPD検討会議（委員長：東京大学 清家剛教授） 『EPD・CFP勉強会』の開催について

建築物のライフサイクルカーボンの削減に向けた制度については、本年10月に建築物LCA制度検討会（国土交通省）の中間とりまとめ（案）が示されたところですが、この中でも、2028年度の制度開始を見据え、建材・設備製造事業者の役割として、建材・設備のCO2等排出量原単位の整備が求められているところです。

この度、建材・設備関係の団体及び個社によるEPD・CFPの作成に関する基礎知識の取得や取組の啓発を目的として、建材EPD検討会議（委員長：東京大学 清家剛教授）が主催し、経済産業省及び国土交通省の協力を得て、『EPD・CFP勉強会』を開催することとなりました。

1. 開会・趣旨説明（建産協）

- 主催：建材EPD検討会議（委員長：東京大学 清家剛教授）
（協力：経済産業省、国土交通省）
- 事務局：一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
- 目的：CO2等排出量に係るデータ（CFP：カーボンフットプリントあるいはEPD：環境製品宣言）の業界団体・個社としての作成に関し、建材・設備関連の団体および個社における取組の一層の拡大を図るため、基礎知識の習得、意識向上、取組に向けた啓発を行う。
- 対象者：個社および業界団体（建産協、ALIA、未接点団体等）
※EPD・CFPに関する業界代表データや個社製品データの作成について、取り組み方針が定まっていない、または取り組みを開始できていない建材・設備関連の団体および個社を主な対象とする。
- 期間：2025年12月～2026年2月の間に、複数回開催予定
- 開催形式：オンライン形式
- 参加者人数：最大50名程度
- フォローアップ：
・各回、参加者から受け付けた質問に対する回答をQA集として公開予定。
・勉強会を録画した動画を後日視聴可能とする予定。